



絶縁カウンタ

DACS-2500KD-SCNT (CNTFH) -ISOの 汎用デジタル出力

絶縁カウンタユニット DACS-2500KD-SCNT (CNTFH) -ISO は、内部に使用している絶縁アダプタ基板 DACS-2570-C の部品実装上の都合にて、非絶縁タイプの DACS-2500K-CNT (SCNT) で使用可能な汎用デジタル出力bit11～bit0を利用することができません。

一方、デジタル出力bit23～bit12については、Mコマンドにてカウンタを動作させると、この後、これらのデジタル出力は、分周出力およびテスト用のパルス出力となりますので、結果的に、汎用デジタル出力が全く利用できないこととなります。

絶縁タイプのDACS-2500KD-SCNT (CNTFH) -ISO では、 デジタル出力bit23～bit12の動作を切替えることができます。

(1) デジタル出力コマンドのWコマンドを受信すると、デジタル出力bit23～bit12は、Wコマンドにて指定した出力となります。その後、Mコマンドを受信しても、デジタル出力bit23～bit12は、カウンタ関連の出力となることはありません。

(2) この逆に、ユニットの電源投入後、先にMコマンドを受信すると、出力bit23～bit12は、カウンタ関連の出力となり、その後、Wコマンドを受信しない限り、カウンタ関連の出力を保持します。

(3) デジタル入力の読取りのみを実行する場合は、WOR \square といった読取りのみを実行するコマンドを送信します。WOR \square にてデジタル入力の読取りのみを実行しても、デジタル出力bit23～bit12が汎用デジタル出力用となることはありません。

デジタル出力bit23～bit12 を、汎用デジタル出力として利用する場合

電源投入後、カウンタ用Mコマンドを送信する前に、デジタル出力用のWコマンドを、少なくとも1回、転送するようにしてください。

デジタル出力bit23～bit12 を、カウンタ機能の出力に利用する場合

デジタル出力用のWコマンドを転送しないようにしてください。

この機能は、デジタル出力点数の少ない、DACS-2500KD-SCNT (CNTFH) -ISO のみ有効です。このほかのカウンタ基板/ユニットでは無効です。

製造販売

ダックス技研株式会社

ホームページ

<http://www.dacs-giken.co.jp>

DACS25KDCNT17604D